



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日  
東

上場会社名 株式会社八十二銀行 上場取引所  
 コード番号 8359 URL <https://www.82bank.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 湯本 昭一  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員企画部長 (氏名) 笠原 昭寛 (TEL) 026-227-1182  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 有  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(本資料に記載の金額、比率等は単位未満を切り捨てて表示しております)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	115,575	△7.2	23,502	△20.7	16,481	△18.1
2020年3月期第3四半期	124,653	2.9	29,670	12.8	20,126	17.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 131,047百万円(138.9%) 2020年3月期第3四半期 54,849百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	33.67	33.62
2020年3月期第3四半期	40.74	40.69

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,593,501	872,282	7.4
2020年3月期	10,470,547	748,432	7.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 868,892百万円 2020年3月期 739,988百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2021年3月期	—	6.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△25.2	18,000	△18.4	36.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	511,103,411株	2020年3月期	511,103,411株
2021年3月期3Q	21,544,596株	2020年3月期	21,840,363株
2021年3月期3Q	489,469,724株	2020年3月期3Q	493,930,695株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
※ 2020年度第3四半期 決算説明資料	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結経営成績につきましては以下のとおりとなりました。

経常収益は、国債等債券売却益（その他業務収益）及び貸出金利息の減少を主因として対前年同期90億7千7百万円減少し1,155億7千5百万円となりました。経常費用は、個別貸倒引当金繰入額（その他経常費用）が増加したものの国債等債券売却損（その他業務費用）及び預金利息等の資金調達費用の減少により対前年同期29億9百万円減少し920億7千2百万円となりました。

これらの結果、経常利益は対前年同期61億6千8百万円減少し235億2百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期36億4千5百万円減少し164億8千1百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における財政状態につきましては以下のとおりとなりました。

総資産は前連結会計年度末比1兆1,229億円増加し11兆5,935億円となり、負債は前連結会計年度末比9,991億円増加し10兆7,212億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比1,238億円増加し8,722億円となりました。

主要な科目の四半期末残高につきましては以下のとおりとなりました。

貸出金は、長野県内外の事業者向け資金等の増加により前連結会計年度末比1,856億円増加し5兆5,808億円となりました。

有価証券は、国債及び株式等の増加により前連結会計年度末比3,138億円増加し3兆2,249億円となりました。

預金は、個人及び法人預金が引き続き堅調に推移したことから前連結会計年度末比5,511億円増加して7兆5,266億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月30日公表の業績予想に変更はありません。

※なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当行が合理的であると判断する一定の予測に基づき作成しており、業績を確約するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,650,752	2,280,485
コールローン及び買入手形	22,821	26,830
買入金銭債権	78,869	85,290
特定取引資産	29,559	23,286
金銭の信託	79,301	80,163
有価証券	2,911,132	3,224,942
貸出金	5,395,246	5,580,894
外国為替	20,019	25,842
リース債権及びリース投資資産	69,549	68,496
その他資産	155,098	144,391
有形固定資産	34,343	33,606
無形固定資産	5,041	4,769
退職給付に係る資産	20,856	21,123
繰延税金資産	2,287	2,030
支払承諾見返	33,229	34,594
貸倒引当金	△37,560	△43,248
資産の部合計	10,470,547	11,593,501
<b>負債の部</b>		
預金	6,975,504	7,526,626
譲渡性預金	257,674	168,879
コールマネー及び売渡手形	845,982	868,280
売現先勘定	79,770	92,421
債券貸借取引受入担保金	537,369	891,193
特定取引負債	3,444	3,160
借入金	785,947	914,032
外国為替	544	2,994
その他負債	128,242	96,654
退職給付に係る負債	12,494	12,227
睡眠預金払戻損失引当金	894	494
偶発損失引当金	984	1,192
特別法上の引当金	9	10
繰延税金負債	60,022	108,457
支払承諾	33,229	34,594
負債の部合計	9,722,115	10,721,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
資本金	52,243	52,243
資本剰余金	54,173	59,181
利益剰余金	477,336	486,966
自己株式	△11,789	△11,629
株主資本合計	571,964	586,761
その他有価証券評価差額金	185,821	290,495
繰延ヘッジ損益	△17,414	△7,994
退職給付に係る調整累計額	△382	△370
その他の包括利益累計額合計	168,023	282,131
新株予約権	365	257
非支配株主持分	8,078	3,131
純資産の部合計	748,432	872,282
負債及び純資産の部合計	10,470,547	11,593,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
経常収益	124,653	115,575
資金運用収益	63,350	59,465
(うち貸出金利息)	35,566	32,702
(うち有価証券利息配当金)	25,208	25,014
信託報酬	2	2
役務取引等収益	16,046	15,541
特定取引収益	1,370	2,001
その他業務収益	38,004	32,198
その他経常収益	5,879	6,366
経常費用	94,982	92,072
資金調達費用	9,964	5,469
(うち預金利息)	2,769	755
役務取引等費用	5,556	5,512
その他業務費用	28,945	26,169
営業経費	44,769	44,194
その他経常費用	5,746	10,727
経常利益	29,670	23,502
特別利益	34	9
固定資産処分益	34	9
特別損失	433	256
固定資産処分損	235	24
減損損失	198	202
金融商品取引責任準備金繰入額	—	1
その他の特別損失	—	28
税金等調整前四半期純利益	29,271	23,255
法人税、住民税及び事業税	6,609	7,746
法人税等調整額	1,730	△1,023
法人税等合計	8,339	6,723
四半期純利益	20,932	16,531
非支配株主に帰属する四半期純利益	805	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,126	16,481

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	20,932	16,531
その他の包括利益	33,917	114,516
その他有価証券評価差額金	32,396	105,081
繰延ヘッジ損益	1,896	9,419
退職給付に係る調整額	△375	14
四半期包括利益	54,849	131,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,133	130,588
非支配株主に係る四半期包括利益	716	459

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当ありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済への影響は翌連結会計年度まで継続すると想定しております。当該想定のもと、主に貸出金等の信用リスクに一定の影響を及ぼし、一部の債務者の信用力(返済能力等)が低下するものの、与信費用の増加は多額にならないものと仮定しております。

こうした仮定のもと、足元の業績や将来の業績見通しを踏まえ、一部の債務者の債務者区分を見直すとともに、キャッシュ・フロー見積法やキャッシュ・フロー控除法におけるキャッシュ・フローによる回収可能額の見積りにもこれらの実態を反映して貸倒引当金を算定しております。

当該仮定は不確実であり、新型コロナウイルス感染症の状況やその経済への影響が変化した場合には、今後の業績に影響を及ぼす可能性があります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書における(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

# 2020年度第3四半期 決算説明資料

## 【 目 次 】

1. 2020年度第3四半期の損益	単	..... 1
2. 有価証券関係損益	単	..... 2
3. 預金、貸出金の残高	単	
4. 消費者ローン残高	単	
5. 中小企業等貸出金	単	
6. 個人預り金融資産の残高（末残）	単	..... 3
7. 金融再生法ベースの категорияによる開示	単	
8. その他有価証券で時価のあるものの評価損益	単	..... 4
9. 自己資本比率（国際統一基準）	連・単	

1. 2020年度第3四半期の損益【単体】

	(単位：百万円)		2019年度 第3四半期 (9ヵ月間)	〔公表予想値〕 2020年度通期
	2020年度 第3四半期 (9ヵ月間)	対前年同期		
業務粗利益	62,887	△ 2,632	65,520	
資金利益	53,953	714	53,239	
役務取引等利益	5,555	△ 488	6,043	
特定取引利益	118	58	60	
その他業務利益	3,259	△ 2,916	6,176	
うち国債等債券損益①	2,817	△ 2,862	5,679	
経費	39,304	△ 1,269	40,573	
うち人件費	20,443	△ 866	21,310	
うち物件費	16,155	△ 545	16,701	
実質業務純益(注)	23,583	△ 1,363	24,946	290
コア業務純益(注)	20,766	1,499	19,267	250
除く投資信託解約損益	19,665	574	19,091	
一般貸倒引当金繰入額(注)②	966	966	—	
業務純益(注)	22,617	△ 2,329	24,946	270
株式等損益③	2,067	712	1,355	
金銭の信託運用損益	△ 629	1,087	△ 1,717	
不良債権処理額④	5,255	5,027	227	
貸倒引当金戻入益(注)⑤(A+B)	—	△ 739	739	
一般貸倒引当金取崩額(注)A	—	19	△ 19	
個別貸倒引当金取崩額(注)B	—	△ 759	759	
償却債権取立益⑥	77	76	1	
経常利益	19,501	△ 6,534	26,036	210
特別損益	△ 215	183	△ 399	
法人税等合計	5,385	△ 1,785	7,170	
四半期(当期)純利益	13,901	△ 4,565	18,467	150

与信関係費用②+④-⑤-⑥	6,143	6,656	△ 512
有価証券関係損益①+③	4,884	△ 2,150	7,034

(注) 1. コア業務純益、実質業務純益及び業務純益の計算式は次のとおりです。

実質業務純益＝業務粗利益－経費  
 コア業務純益＝業務粗利益－経費－国債等債券損益  
 業務純益＝業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額

2. 2019年度第3四半期は、一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金が全体で取崩となりましたので、その合計額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(ア) 実質業務純益は、経費が減少したものの、国債等債券損益の減少により対前年同期13億円減少して235億円となりました。

(イ) 経常利益は、実質業務純益の減少の他、与信関係費用の増加等により対前年同期65億円減少して195億円となりました。

(ウ) これらにより四半期純利益は対前年同期45億円減少し、139億円となりました。

(エ) 2020年度通期予想値に対する進捗状況は、実質業務純益、経常利益、四半期純利益とも計画を上回って推移しています。

〔通期予想値に対する進捗率〕

実質業務純益	81%
経常利益	92%
四半期純利益	92%

2. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期 (9ヵ月間)		2019年度 第3四半期 (9ヵ月間)	〔参考〕 2020年度中間期
	対前年同期			
国債等債券損益(5勘定戻)	2,817	△ 2,862	5,679	2,060
売却益	6,176	△ 5,606	11,782	5,143
償還益	—	—	—	—
売却損	3,359	△ 2,744	6,103	3,082
償還損	—	—	—	—
償却	—	—	—	—
株式等損益(3勘定戻)	2,067	712	1,355	521
売却益	2,629	648	1,980	890
売却損	398	32	365	298
償却	163	△ 95	259	71

(注) 国債等債券損益中の売却益及び売却損には、長期債のリスクヘッジに利用したスワップ解約損益が含まれております。

3. 預金、貸出金の残高【単体】

(1) 全体

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期		2019年度 第3四半期	〔参考〕 2020年度中間期
	対前年同期			
預金 (末残)	75,445	6,123	69,321	73,055
預金 (平残)	72,859	5,092	67,766	72,183
貸出金 (末残)	56,284	1,619	54,665	55,652
貸出金 (平残)	55,993	1,937	54,056	55,954

(2) 長野県内店分

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期		2019年度 第3四半期	〔参考〕 2020年度中間期
	対前年同期			
預金 (末残)	69,496	6,254	63,242	67,435
預金 (平残)	67,227	5,319	61,907	66,588
貸出金 (末残)	28,287	734	27,553	27,956
貸出金 (平残)	27,947	472	27,474	27,817

4. 消費者ローン残高【単体】

(単位：億円)

	2020年12月末		2019年12月末	〔参考〕 2020年9月末
	2019年12月末比			
消費者ローン残高	12,606	203	12,403	12,547
うち住宅ローン残高	11,905	278	11,627	11,808

5. 中小企業等貸出金【単体】

(単位：億円)

	2020年12月末		2019年12月末	〔参考〕 2020年9月末
	2019年12月末比			
中小企業等貸出金 (末残)	28,641	1,122	27,518	28,273
中小企業等貸出比率 (%)	51.0	0.5	50.5	50.9

(注) 1. 貸出金残高には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

2. 中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等であります。

6. 個人預り金融資産の残高(末残) 【単体】

(単位：億円)

	2020年12月末		2019年12月末	[参考] 2020年9月末
		2019年12月末比		
個人預り金融資産	53,178	3,000	50,178	51,758
円貨預金	51,027	2,965	48,061	49,678
投資型商品	2,151	34	2,116	2,079
外貨預金	157	5	152	154
投資信託	1,507	△ 3	1,511	1,455
公共債(国債等)	485	33	452	469

7. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 【単体】

(単位：億円)

	2020年12月末	[参考] 2020年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	79	79
危険債権	618	604
要管理債権	256	252
合計	954	936
総与信残高比 (%)	1.66	1.65

(注) 2020年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。また、同計数は、当行の定める自己査定基準に基づく2020年12月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。  
なお、当行は部分直接償却を実施しておりません。

※債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 …… 破綻先債権及び実質破綻先債権  
危険債権 …… 破綻懸念先債権  
要管理債権 …… 要注意先債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する債権

<ご参考> 部分直接償却を実施した場合は以下のとおりです。

(単位：億円)

	2020年12月末	[参考] 2020年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	33	34
危険債権	618	604
要管理債権	256	252
合計	907	891
総与信残高比 (%)	1.58	1.57

(注) 部分直接償却とは、自己査定により回収不可能または無価値と判定された担保・保証付き債権等について、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類債権額)を取立不能見込額として、債権額から直接減額することです。

8. その他有価証券で時価のあるものの評価損益【単体】

(単位：億円)

	2020年12月末				〔参考〕2020年9月末			
	貸借対照 表計上額	評価損益	評価益	評価損	貸借対照 表計上額	評価損益	評価益	評価損
その他有価証券	32,313	4,140	4,263	122	30,372	3,410	3,542	132
株式	4,593	3,644	3,648	3	3,869	2,923	2,927	3
債券	20,081	211	282	71	18,822	204	279	74
その他	7,638	284	332	47	7,680	281	335	53

- (注) 1. 評価損益は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。  
 2. 決算日の時価に基づいております。  
 3. 日経平均株価 2020年12月末 27,444円、2020年9月末 23,185円  
 4. その他有価証券に対応した繰延ヘッジ損益  
 有価証券の時価変動を低減する目的で、デリバティブを使用しております。

(単位：億円)

	2020年 12月末	2020年 9月末
	評価損益	評価損益
繰延ヘッジ損益	△ 120	△ 183

9. 自己資本比率（国際統一基準）【連結】【単体】

2020年12月末実績値につきましては、現在算出中であり、確定後公表する予定であります。

以 上